

4大学連携カリキュラムの授業が実施される

実用医療英語

実用医療英語は17名の学生（看護学科7名・薬学部10名）が参加し、実施日：5月16日・23日・30日、6月6日・13日・20日・27日（各土曜日）の10:30～12:30の日程で医学部3号館第3講義室（全体講義）およびセミナー室<SP（SimulatedPatient）による面接実習>にて実施致しました。

本科目では地域や国によって異なる「健康」の意味や、病気・治療への考え方と方法などについて英語によるディスカッションのほか、日本在住外国人（アメリカ人・中国人）や海外での医療に携わっている医師などによる講義を行い、その上で外国人SPによる英語での医療面接を行いました。外国人を相手にした医療面接は臨場感があり、実践的な医療英語能力の重要性を認識する機会となりました。



授業を通して学んでほしいこと

●副医学部長 高松 研

